

美しい町づくり

木下 つはさ

わたしは、家族と犬の散歩に閑の江海水文
く場に行く事があります。いつ行ってもたく
さんのゴミがあり、少し悲しい気持ちになり
ます。サンダル、ペットボトル、花火、ビン
のはへん、中にはバイベキュ―セットやまだ
火の消えていない炭もありました。
「なんでこんな物が海にあるんだろうね」
とお母さんがいいました。わたしも同じ事を

思いました。

夏には多くの人か海にあそびに来るので、
こんなにあくさんのゴミがあると、ケがをし
たり、楽しく遊ぶ事ができません。

そして、人間だけではなく散歩している犬
にもきけんです。うちの犬も肉球の間にペッ
トボトルのキャップがはさまってパニツクに
なったり、切れて血が出た事があります。

その時、お母さんから聞いた話では、何
年か前にウミガメやイルカが打ち上げられて

死んでいるのを見たそうです。原いんはわか
らないけど、もしかしたら人間が捨てたゴミ
を飲みこんでしまい病気になったり、死んで
しまったのかもしれません。もしそうだとし
たら、とてもかわいそうです。その話を聞
いてから、
「少しでもゴミがへるといいな」
と思ったので、海に行く時は、ビニールぶく
ろを持っていき、お母さんと一緒にゴミを
拾って帰るようにしています。

海だけではなく、町中にはたくさんゴミ
が落ちているので、美しい町づくりのため
は、一人一人がゴミを捨てないように心がけ
る事が大切です。

ベッぷ市は、観光客の人達がたくさん来る
ので、「美しい町」だと思ってもらえるように
わたしもできる事がはじめていきたいです。